

★活動紹介：機関誌『知財管理』作成

《体制》

第1小委員会
(関東)

第2小委員会
(関西)

関東、関西のJIPA事務所と会社を訪問しながら広域に活動できる！

《企画原稿掲載までの流れ》

【1. 企画立案】



実務での課題や気になるテーマを自由に設定し、企画立案が可能！

- ・論説／資料
- ・今更聞けないシリーズ
- ・知的財産Q & A
- ・判例と実務シリーズ
- ・海外注目判決 など

【2. 執筆者検討&執筆依頼】



執筆者との面談風景

会いたいと思ってもなかなかお会いできないような業界の著名人にも会える。

【4. 『知財管理』完成】



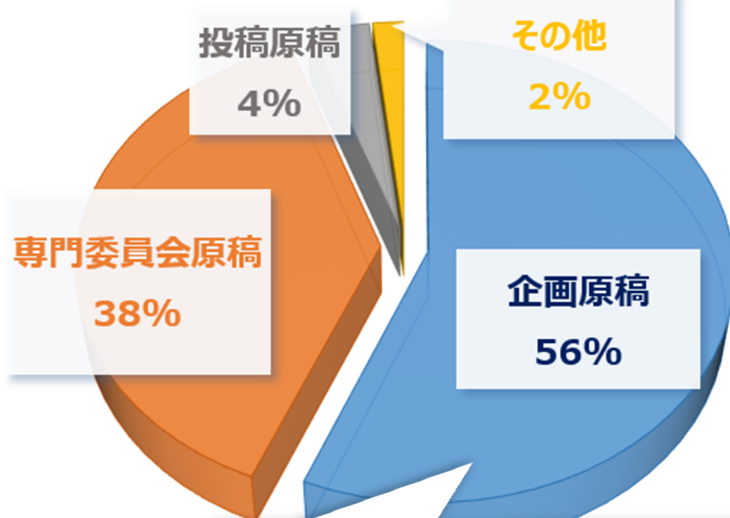
自ら企画した原稿が掲載される。編集委員として名前が掲載されるのもやりがいになる。

【3. 原稿査読】



委員全員で原稿内容の確認。公開前の最新の原稿が読め、文書の校正能力が身に付く！

掲載原稿種別内訳



半分以上が会誌広報委員会により企画した原稿。



《会誌広報委員会メンバー》

★会誌広報委員会メンバーの『生の声』

～会誌広報委員やってよかった！～

A.幅広い知識を得ることができ社内の業務のスキルアップに大いに役立った！

A.普段の業務で即実行できる情報が得られた！

A.執筆者面談にて、知財業界で活躍されている著名人と会えた。

A.知財マンとしての幅広いスキルを身につけることができる！

Q1.会誌広報委員になって良かったことは？

A.会員企業が抱えているトレンドな課題や様々な考え方を知ることができた！

Q2.会誌広報委員の仕事で一番面白かったことは？

A.自分で企画したテーマが原稿として掲載された！

Q3.これから委員になる人へのお勧めポイントは？

A.社外の、特に自分の業種以外の方との交流ができる。

★『知財管理』ダウンロードランキング

(2015年6月号～2016年5月号
JIPAホームページ掲載後3ヶ月間でのダウンロード数集計)

1位

知財部門の機能拡大に関する研究 (2016年1月号)
マネジメント第2委員会 第1小委員会

「知財権そのものだけを扱う仕事から、広く知財に関する業務に眼を向けて舵取り役をすべき」といった課題意識を持つ、知財部門の方が参考にしたのでは。

担当者Mさん

2位

グローバル企業の出願戦略の事例研究 (2016年2月号)
情報検索委員会 第3小委員会

グローバル出願戦略の策定・解析手法について課題を持っており、それら手法のヒントを得たいと考えている企業が多いのではないのでしょうか。

担当者Sさん

3位

知財情報解析を活用した新たな知財価値評価手法の紹介 (2016年4月号) 山内 明

特許の経済的価値評価についての2つの手法が難しくなく書かれている。実践に基づく説得力のある内容が企業の方に響いたのかも。

担当者Oさん

★ユーザフレンドリ活動



読者

「知財管理」って難しい..



WGリーダー：
新井さん

このようなご意見を踏まえ、内容のレベルは落とさず、図・グラフを活用するなど読みやすい誌面作りに向けた取り組みを行っています。会誌広報委員ならではの活動で、やりがいを感じます。

★2017年4月 特集号

テーマ「技術革新と知財」

近年話題の人工知能やIoTに代表される技術革新と知財の関わりについてフォーカス

★注目ポイント

JIPA関係者からの提言、人工知能・営業秘密・特許適格性・フィンテックなどに関する法的諸問題、機械・電気・医療等各分野の最先端の技術革新トピックス紹介！